

高槻名誉市民を

語り継ぐ会会報

5号

平成 26 年 9 月 7 日

昨今におきまして統計史上、初の豪雨が西日本を襲い、各地で被害が出ました。被災された方々に心よりお舞申し上げます。

我が高槻は約 2000 年の歴史豊かな街とも言われており、先人の知恵により「自然災害に強い街づくり」をされてきたことは、我会の方針と同じく後世に我々が引き継いでいかなければならないと改めて思う次第です。

この会報をお読みいただいている皆さま（特別会員）の方々には、今後のスケジュールを把握していただきたいと存じます。本号掲載以外に下記 3 点について今年度中に足がかりをつけたいと考えております。①ハイキング（名誉市民の足跡を）、②講演（名誉市民の研究発表）、③紙芝居（子供たちに語り継ぐ）以上よろしくご援助の程お願い致します。【村上】

【第2回高槻自慢トークリレー行う！！】

上記の会を下記の要項で開催いたします。今回ゲストスピーカーに時任光二さんをお迎えし、「ひろげよう 深めよう たかつきのええとこ」と題して行われます。

時任さんは「足で書く」ローカル・ジャーナリストと言われ、情報誌『きつつき21』の編集を担当されています。注目される特集を連発され、富田の街おこしにも貢献されております。

Ⅱ部対談には高槻郷土史家の宇津木先生にも参加していただき、さらに「高槻のええとこ」を探っていきます。

■開催日：平成 26 年 9 月 25 日（木）
11:00～15:00

■開始場所：花の里温泉「山水館」

■費用 ¥：3,000（食事・温泉すべて含む）

【琵琶演奏行う】

10月8日（水）の名月の日に高槻名誉市民山崎旭萃氏の一番弟子の奥村旭翠氏による演奏が行われます。これは高槻ロータリークラブの秋の親睦会のイベントとして取り入れられたもので、名誉市民の業績を普及するには絶好の機会です。



速報！！

11/7（金）の名月の日に高槻観光協会主催の「観月会」が行われます。今回高槻名誉市民山崎旭萃氏の一番弟子奥村旭翠氏の琵琶演奏が企画されております。 乞うご期待！！

（名言集）

山崎旭萃氏の人生訓

「何もせんものには落ち度がなか。するものには落ち度があつてあたりまえや」